



令和4年10月3日
九州地方整備局

「令和5年度 発注者支援業務等の発注における技術提案評価テーマ（留意点）」の事前公表について

翌年4月から履行を開始する発注者支援業務等（発注者支援業務、公物管理補助業務、用地補償総合技術業務）の発注手続き期間は、土木コンサルタント等業界の繁忙期と重なっており、中でも入札公告から技術提案書提出までは、年末年始を跨ぐ期間となります。

これらの状況を踏まえ九州地方整備局では、下記のとおり、令和5年度発注者支援業務等の技術提案評価テーマ（留意点）を事前に公表して技術提案書の検討期間を拡大し、各社の入札参加意欲の向上による競争性の確保、技術提案内容のさらなる充実化及び各社の負担軽減を図ります。

記

1. 対象業務

令和5年4月に履行を開始する九州地方整備局発注の以下の業務（港湾空港関係業務を除く）

- 発注者支援業務【積算技術、工事監督支援、技術審査】
- 公物管理補助業務【道路許認可審査・適正化指導、河川巡視、河川許認可審査、ダム管理、堰・排水機場管理】

2. 技術提案評価テーマ（留意点） 別添一覧表のとおり

【問い合わせ先】

九州地方整備局 代表電話番号：092-471-6331
直通電話番号：092-476-3546

九州地方整備局	企画部	技術開発調整官	<small>マエダ</small> 前田	<small>アキヒロ</small> 昭浩（内線：3120）
		技術管理課長	<small>チトセ</small> 千年	<small>ヤスヒデ</small> 康秀（内線：3311）
		技術管理課	課長補佐	<small>ナカシマ</small> 中島 <small>フシ</small> 大（内線：3314）

令和5年度 発注者支援業務等の技術提案評価テーマ(留意点)

業務種別	R5年度	
	留意点	判断基準
河川巡視支援業務	適切な巡視報告をするために、担当技術者(河川巡視員)に行うスキルアップの方法について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 スキルアップが図られる具体的取組が記載されている場合に優位に評価する。
河川許認可審査支援業務	申請者からの問い合わせ等に対する適切な対応方法について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 申請者に対する対応等について、具体的な留意点が記載され、その対応方針が適切な場合に優位に評価する。
ダム管理支援業務	業務対象ダムの出水時における的確な業務実施の留意点と体制の確保について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅され、優れている場合に優位に評価する。 《実現性》 ダムの出水時における的確な業務実施のための取り組み(組織体制(バックアップ体制)・人材育成等)について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
排水機場管理支援業務 堰管理支援業務	操作施設における効率的かつ効果的な管理手法について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 施設監視を実施する上で、効率的な管理手法の取り組み(組織体制(バックアップ体制)・人材育成等)について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
道路許認可審査・適正化指導業務	審査過程におけるミス防止のための工夫について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点・問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 特に審査で注意してチェックする項目及び申請・審査関連システムを使用する上での留意点など、審査過程における正確性を確保するための工夫について、具体的かつ適切な提案がある場合に優位に評価する。
道路許認可審査・適正化指導業務 【特殊車両審査関係】	特殊車両通行許可申請において、審査の効率化を図るための組織的な取組・工夫について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点・問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 事務手続きを迅速に処理するための組織的な対応策が具体的に記載され、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
積算技術業務	適正な工事価格を算出するための積算品質確保の具体的な取り組みについて	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 適正な工事価格を算出するための積算品質確保の具体的な取り組みについて、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
技術審査業務	総合評価項目の分析・整理において、公平性を確保するための取り組み事項とその方法について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 総合評価項目の分析・整理において、公平性を確保するための取り組み事項とその方法について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
工事監督支援業務 A	工事における施工効率向上を図るための取り組み(いきいき現場づくり)を円滑に実施するための留意点について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 工事における施工効率向上を図るための取り組み(いきいき現場づくり)を円滑に実施するための留意点について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
工事監督支援業務 B	工事の工程・品質を適正に管理するために本業務受注者が取り組む事項とその方法について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 工事の工程・品質を適正に管理するために本業務受注者が取り組む事項とその方法について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。

※工事監督支援業務については、発注者が入札公告時に2テーマの中から任意に設定する。